

市長記者会見資料

- 1 温かい給食を中学生に！
～「はちおうじ版センター方式」による新たな学校給食施設の建設
- 2 オリンピアンによる走り方教室
～東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて
- 3 若手職員による「未来への提言プロジェクト」始動
～市内の有識者がプロジェクトをサポート

温かい給食を中学生に！

「はちおうじ版センター方式」による新たな学校給食施設の建設

手作りで美味しい栄養バランスがとれた温かい中学校給食を全校で実施する。市内7か所に「(仮称)食育センター」を建設し、地域と食でつながり、中学生の心とからだを育む、「はちおうじの給食」の提供をめざす。

記

1 はちおうじ版センター方式による特長

(1) 温かい給食の提供

配送時間を考慮し、給食施設を市内に効率よく配置

(2) 地域の食材活用

郷土愛を育むため地元の農家や市内業者から優先的に食材を調達

(3) 食物アレルギーへの対応

安全性を最優先した食物アレルギーへの対応

(4) さらなる食育の推進

本市が誇る素材からの手作りで美味しい安全・安心な給食を活用した「心とからだを育てる」食育のさらなる推進

(5) 食育センターの活用

地域の食育活動を支える場所を備え、三期休業中などを含めた多様な活用

(6) 防災機能

災害時に市民への食事の提供

2 「(仮称)食育センター」の施設概要

(1) 所在地 市内7か所の公共用地

(2) 調理能力 1か所当たり

概ね2,500食(5~6校分)

3 今後のスケジュール

3年間で整備予定



オリンピックによる走り方教室

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は、あらゆる世代がスポーツに親しむきっかけとなり、スポーツ振興や健康づくりに大きく寄与することが期待される。そこで、小学生を対象に「オリンピックによる走り方教室」を開催する。ライフステージの始まりであるジュニア時期に、あらゆる競技に共通する「走る」ことを直接オリンピックから学ぶことで、スポーツに対する子どもの関心を高めるとともに2020年東京大会の気運醸成を図る。

1 概要

日時	12月23日(土) 13:30~15:30	対象	市内在住・在学の小学生
会場	エスフォルタアリーナ八王子メインアリーナ	定員	150名(抽選)
申込方法	ファックス・ハガキに「走り方教室」と住所・氏名・学年・性別・学校名・電話番号を書いて、12月7日(必着)までに八王子市役所スポーツ振興課へ (〒192-8501 FAX 626-8554) ※結果は、当選者にものみ通知		

2 講師

いづか しょうた
飯塚 翔太 選手

生年月日 1991年6月25日

中学時代から頭角を現し、大学時代には世界ジュニア選手権で優勝。「和製ボルト」の愛称を持つ。



<実績>

- ・2016年 日本選手権 200m … 優勝 日本歴代2位
- ・リオ2016オリンピック 400mリレー … 銀メダル
- ・ロンドン世界陸上 400mリレー … 銅メダル

まつした ゆうき
松下 祐樹 選手

生年月日 1991年9月9日

高校・大学時代は十種競技を専門とし、大学で学生チャンピオンに。社会人からは400mハードルを専門的に取り組む。



<実績>

- ・2015年 日本選手権 400mハードル … 優勝
- ・世界選手権 400mハードル … 準決勝進出
- ・リオ2016オリンピック 400mハードル 日本代表

<問い合わせ>

生涯学習スポーツ部スポーツ振興課長 坂口 電話042-620-7457

若手職員による「未来への提言プロジェクト」始動 市内の有識者がプロジェクトをサポート

市制100周年を迎えた今年、100年続くまちづくりを見すえた「八王子市の未来図」を考えるため、次世代を担う若手職員によるプロジェクトチームを発足した。人口減少社会において、本市が直面すると予想される課題を共有するとともに、その解決に向けて議論するもので、職員研修の一つとして実施する。

- 1 実施期間 平成29年11月中旬から平成30年3月下旬
- 2 メンバー 概ね30歳以下の正規職員 19名
メンバーを庁内で公募し、課題論文を審査して決定

3 スケジュール

時 期	内 容
11月15日 【実施済】	<p>キックオフミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市部長による基調講演 ・ オリエンテーション  <p>▲キックオフミーティングの様子</p>
12月12日	<p>グループディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演 首都大学東京 都市環境学部教授 饗庭 伸氏 「都市をたたむ ー人口減少時代をデザインする 都市計画ー」 <p>※ 以降、4グループに分かれて討議</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>饗庭 伸氏 平成19年より首都大学東京准教授、29年より教授。世田谷区、岩手県大船渡市などで実際のまちづくりに携わりながら、人口減少時代の都市計画について研究を進めている。近著に「都市をたたむ」(平成27年花伝社)、「自分にあわせてまちをかえてみる力」(平成28年萌文社)。</p> </div>
12月19日	<p>グループディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演 (株)栄 鋳造所 代表取締役 鈴木 隆史氏 「人口減少社会へのものづくり 企業の挑戦」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>鈴木 隆史氏 父の経営する栄鋳造所へ21歳で入社。平成13年、代表取締役就任。バブル崩壊後の業界不況、リーマンショックなどの苦境を乗り越え、平成28年度は海外輸出を中心に過去最高益を達成した。外国人の戦略的雇用を軸とした経営は、国内外から高く評価され、経産省ダイバーシティ経営企業100選 経済産業大臣賞(平成26年)など多数受賞。</p> </div>
1月	先進自治体の視察
2月	グループディスカッション
3月下旬	成果報告会